

マンガ学のすゝめ

日下, みどり
九州大学比較社会文化研究院 : 教授

<https://hdl.handle.net/2324/16800>

出版情報 : 西日本新聞, 2002-01-25. 西日本新聞社
バージョン :
権利関係 :

ぼくはマンガ家



「漫画」から「マンガ」への原点となった手塚治虫の「ぼくはマンガ家」

マンガ学 その8 のすゝめ

日下みどり

「最近どうして漫画をマンガとカタカナで書くの...」

している。今の日本語は、カタカナは外来語を表すために使われるはず。...

「漫画」が「マンガ」に負けた

より動きと音を表現する「映画感覚のあるストーリー漫画」を、従来の四コマ漫画や風刺漫画と区別して「マンガ」と表記する人が現れるようになったのである。

もともと、そのようにぼくが「マンガ」として使ったのは、

「かた頬三年」のお国柄だから

る人は少数で、テレビや新聞でも、漫画、マンガ、まんがと、表記は入り混じっており、厳密な区別はされていない。...

日本は「マンガ大国」だが「漫画大国」とは言えないのである。...

の間で「お笑い」の価値が上がり、面白い男の子も多くなるようになってきている。...

最近の嬉しいニュースは『千と千尋の神隠し』がベルリン国際映画祭で金熊賞をとったことだ。...

気概を持つてはどうか。その為には文化を無自覚に輸出するだけでは駄目である。...

くさか・みどり 九州大学大学院教授

先日、文芸春秋が「文芸春秋漫画賞」を、昨年限りで取りやめ、二〇〇二年度の選考は行わないと発表した。...

お国柄。我々は世界でも指折りの、ユーモア感覚に乏しい民族なのだろう。...

文化があつた国なのだ。今でも日本人はユーモア、風刺、皮肉、冗談、機知といったものに重きを置かない。

た。終了の理由は「四コマ、風刺漫画の発展を目指してきたが、現在主流となっているストーリー漫画とは大きくかけ離れてしまった。...

これは文化的背景が違つた。誰しもあんなに違う。これは文化的背景が違つたもの。漫画がマ